

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年12月19日（月）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアP（P1、P2）

3 確認項目

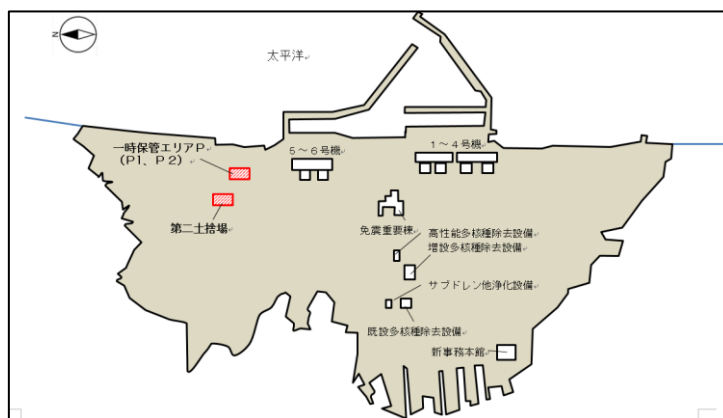
瓦礫類一時保管エリアPの現況

4 確認結果の概要

昨年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管されていたコンテナから放射性物質が漏えいした事象が確認された。また、昨年6月～8月には一時保管エリアX及びP2で保管されていた収納容器（コンテナ、ノッチタンク）からの放射性物質を含む溜まり水の漏えいが確認された。

これらの事例を受け、東京電力では廃棄物管理の適正化を進めており、一時保管エリアP1東側の瓦礫の一部について、保管状況の改善として、仮設集積場所（第二土捨場）への移送作業を実施していることから、その状況や一時保管エリアP（P1、P2）の現況を確認した。（前回確認日：令和4年10月31日）

- ・放射性物質を含む溜まり水が漏えいした収納容器（ノッチタンク）があった場所に置かれていた1m³コンテナは撤去されていた。（写真1）
- ・一時保管エリアP1東側通路に保管されていた瓦礫は、一部の撤去が進んでいた。（写真2）（写真3）
- ・一時保管エリアP1東側の瓦礫の移送先である第二土捨場には前回同様油圧ショベルが置かれており、廃棄物の量が増えていた。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況（令和 4 年10月31日、北側から撮影）



(写真 1 - 2)
ノッチタンクが設置されていた箇所の状況（令和 4 年12月19日北側から撮影）



(写真 2 - 1)
一時保管エリア P 1 東側の状況①
（令和 4 年10月31日、南側から撮影）



(写真 2 - 2)
一時保管エリア P 1 東側の状況①
（令和 4 年12月19日、南側から撮影）



(写真 3 - 1)
一時保管エリア P 1 東側の状況②
（令和 4 年10月31日、南側から撮影）



(写真 3 - 2)
一時保管エリア P 1 東側の状況②
（令和 4 年12月19日、南側から撮影）



(写真4-1)
第二土捨場の状況（令和4年10月31日撮影）



(写真4-2)
第二土捨場の状況（令和4年12月19日撮影）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。